



高卒だより

平成23年
6月13日
発行
第22号
享栄高等学校
入試広報室

入学して一カ月が過ぎて……

高校生になって

入らない予定でした。しかし、部活動紹介の時に見たダンス部に魅力を感じて入部しました。部活動と勉強を両立させて三年間やりとおしたいと思っています。

楠中学校出身 K 君

高校では、バスケットボール部に入学しました。中学の時もやっていたので自信がありました。しかし、スピードやシュートの入る確率・練習量などの違いにびっくりしました。初めのころは練習についていくのが精一杯で、次の日は筋肉痛になり動けませんでした。

練習中に先輩からのプレッシャーやボールの大きさが変わったりシュートがなかなか入らないことにイライラして、辞めたほうがいいのかなど思ったりもしていました。そんなときに中学校に行き、先生のアドバイスをもらいました。

今では、先輩たちともうたとけることができ、毎日の部活動が楽しいものになりました。これからも一生懸命に取り組んでいこうと思います。



平成23年度 入学式 2011年4月7日

瑞穂ヶ丘中学校出身 K さん

新しい制服に身を包んでいるのに、高校生になったという自覚が持てませんでした。周りも知らない人達ばかりで、不安でいっぱいでした。

私は、高校でいちばんがんばろうと思っているのが勉強です。中学の時は、なかなか結果が出ずあきらめていました。高校では一〇位以内を目標にしたいです。

私は、委員長に選ばれました。これからは、クラスのみんなのために、一生懸命に仕事をしていきたいです。そして、常に努力をして将来の夢に向かって、充実した高校生活をおくりたいと思います。

城山中学校出身 K さん

私は高校生になっても、自分が高校生になったという自覚がありませんでした。中学校の時と同じように制服を着て、朝早く登校して先生の話を聞く。あまり変化のない感じでした。しかし、同じ学年の人で、生活指導課に呼ばれた人がいると聞き、その時やと自分は高校生で、義務教育ではないと改めて気がつきました。

私は家庭のこともあり、アルバイトをして、部活動には



師勝中学校出身 A 君

私は、高校生になって勉強はもろんのこと、友達をたくさん作りたかったです。中学生の頃は、特定の子としか仲良くできなく、みんなと仲良くできませんでした。ですから高校では、クラスの友達だけでなく、クラス外の子とも仲良くなれるようにがんばりたいです。

もう一つの目標は、自分の将来の夢や、やりたいことを見つけていくことです。また、何事に対しても積極的に挑戦していきたいです。

高校は中学校と違って、自分の意志で行っているという事をすごく感じました。三年間まじめに過ごし、友達とみんなで卒業したいです。これが初めてできる親孝行だと思います。



野外合宿に参加して

新入生オリエンテーション合宿
平成二三年四月十三日〜十五日
国立乗鞍青少年交流の家

伊勢山中学校出身 A さん

野外合宿の集団行動では、一人一人が規則を守り、時間を絶対に守るなど、たくさんの方の注意をいただきました。当たり前ですが、自分たちではできていなかったのだと思います。今回の合宿で注意されたことは、これからの集会などでは注意されないようにしていきたいです。

今回の合宿では、クラスの友達との友情を深めることができました。ハイキングでは、お互いに励ましあい無事に目的地へ着くことができました。最後に見たアルプスの山々は、とてもすばらしかったです。

合宿で学んだことをこれからの学校生活で生かしていきたいと思っています。

川名中学校出身 S さん

今回の野外合宿は、今まで体験してきた野外合宿とは、まったく別のものでした。今までの合宿は友との絆を深めるといってもいいのですが、今回の合宿は厳しい合宿の中で、友を見つけるというものでした。

合宿は本当に厳しく、途中で早く帰りたいとも思いましたが、そのなかでも良い友達と出会うことができました。厳しい合宿の中で出会った友達を大事にしていきたいと思っています。

そして、もうひとつ今までは違うところがありました。それは、「親からの手紙」です。日ごろ素直に話せないことを、手紙を通じて話すことができ、これからはこの気持ちを忘れることなく、親と接していきたいと思っています。

今回の合宿は、新たな友との出会いや、親への素直な気持ちを伝えることができ、自分にとって良い成長の場になったと思います。



1年1組 伊勢山クラス
平成23年度 享栄高等学校・新入生野外合宿 伊勢山ハイキング 2011. 4. 13~15 乗鞍青少年交流の家



藤浪中学校出身 T 君

僕は、二泊三日の野外合宿を通じて、いろいろなことを学ぶことができました。

一日目は、親からの手紙を読み、返事を書きました。ふだんは親とあまり話すことがないので、手紙を読むことで親の気持ちを知ることができました。

二日目は、ハイキングに行きました。雪山は寒くて、坂が急だったので登るのがとても大変でした。でも、目的地に着いたら、苦労し最後までやり遂げた時の喜びを感じる事ができました。

合宿を通じて、時間を守る事の大切さや、集団行動の意味などを知ることができました。ここで学んだことを、これからの生活に役立てていきたいと思っています。

知多中学校出身 A 君

最初は野外合宿に行くのが嫌でした。なぜなら、高校に入学してから一週間ほどしかたつていなかったため、周りには知らない人ばかりでとても不安だったからです。

合宿の初日は、まだリズムがつかめていなかったため、夕べの集いの集合時間に遅れてしまったり、横の人と私語をしたりしてしまっていました。そのおかげで、次からは、集合時間の前に集合できたり、静かに待てるようになった。自分でも変わったような気がします。これらのことを今後の高校生活に生かしていきたいと思っています。

南光中学校出身 T 君

野外合宿に行くまでは、正直不安もあつたけれど、最終日にはみんなと笑顔で帰って来ることができて良かったと思います。

僕は野外合宿を通して、「仲間が大切」ということをあらためて感じました。それはなぜかと言うと、僕が一日目に体調を崩し熱を出していた時に、その状態を先生に伝えてくれたり、心配して声をかけてくれたりしたからです。僕はそのひと言ひと言がとてもうれしくて、仲間は本当に心強い見方だなと思いました。

あまり良い思い出はありませんでしたが、自分にとってためになった合宿だったと思います。



全国大会出場決定!

平成二三年度の高校総合体育大会愛知県大会において、ボクシング部の但馬選手が優勝し、ソフトテニス部の富上・北村ペアが個人戦で五位に入賞しました。その結果、七月二十八日から東北地方で開催される全国総合体育大会(インターハイ)への出場が決定しました。

ボクシング部

ライトウェルター級(六四kg以下) 優勝
但馬 ミツロ (碧南東中学校出身)



Q1..ボクシングを始めたきっかけは?

但馬..小さい頃から格闘技が好きで、テコンドーをやっていた。
高校受験の時に、享栄高校にボクシング部があるのを知り、迷わず決めました。

Q2..ボクシングのスタイルは?

但馬..相手との距離をとって、速いジャブを連打し、組み立てるスタイルです。
得意なパンチは左ジャブです。

Q3..インターハイでの目標は?

但馬..もちろん優勝をねらいます。

Q4..将来の進路、目標は?

但馬..まだ二年生なので、はっきりしたことは言えませんが、今は、大学に進学してボクシングを続けたいと思っています。

Q5..後輩たちにひと言

但馬..目標を見つけて精一杯努力し、がんばって強くなりましょう。そして、人間としても成長してください。

ソフトテニス部

個人戦 五位
富上 将利 (天白中学校出身)
北村 雅也 (稻沢中学校出身)



Q1..ソフトテニスを始めたきっかけは?

富上..父がテニスをやっているのを見て、かっこよかったので、中学校の部活に入部しました。

北村..父もインターハイ選手でした。小学校の時に父に教えてもらい始めました。

Q2..インターハイでの目標は?

富上..三年生最後の大会なので、一試合でも多く勝ちたいです。

北村..コンディションを万全にし、自分のベストをつくします。

Q3..後輩たちにひと言

富上..団体戦ではインターハイに出場できなかったのですが、来年はねらっています。

北村..学年などに関係なく試合に出ることができるので、お互いがんばりましょう。

Q4..享栄高校ソフトテニス部の雰囲気は?

富上..自分たちが下級生だったころも、先輩たちがしっかりと教えてくれました。厳しさの中にも楽しさがあり、よい雰囲気だと思います。

北村..先輩たちがやさしく接してくれるので、気持ちも楽になり練習に取り組むことができます。他校からも誘われたが、享栄にしてよかったです。

享栄トピックス1

「街美ボランティア」

五月二一日(土)に、昭和ライオンズクラブ主催の「街美ボランティア」が開催され、今年も、本校の生徒・教職員・PTA約一八〇名が参加しました。
当日は天候にも恵まれ、八事興正寺から享栄高校までの約三キロを一〇のグループに分かれ、歩道に落ちているゴミを拾って歩きました。



参加した生徒の感想

「自分の歩いている足元をよく見ると、ほんとうに多くの空き缶やペットボトルが落ちていた。すぐにゴミ袋が一杯になった。」

「二回目の参加でしたが、あいかわらず多くのゴミが捨てられていた。最低限のマナーは守ってほしいと思いました。」

「苦労様と声をかけられ、うれしかった。次回も参加しようと思いました。」

享栄トピックス2

「さくら植樹ボランティア」

四月二日(土)に、八事興正寺で開催された「千本さくら植樹会」に、本校の生徒・教職員約五〇名が参加しました。

この植樹会は、「興正寺の参道にさくら並木を！」を合言葉に、平成二一年度から始まったもので、今年度で三年連続のボランティア参加となります。



享栄トピックス3

「東日本大震災募金活動」

三月一日に発生しました東日本大震災に対し、部活動有志とPTA・生徒会が、校内と家庭に募金を呼びかけ、同時に地下鉄桜山駅周辺において募金活動を行いました。通勤通学の慌ただしい時間帯でしたが、皆様方の温かいご協力により、たくさん募金を集めることができました。校内募金と街頭募金を合わせて二百二十九万三〇〇三円でした。

集まった募金は、日本赤十字社を通じて被災地復興のために寄附をいたしました。

